

日本精神保健看護学会

第20回総会・学術集会のご案内

テーマ：精神看護のアウトカム－測れるもの・測れないもの－
会長：萱間真美（聖路加看護大学）

第20回日本精神保健看護学会学術集会を、2010年6月19日（土）20日（日）の両日にわたって、東京、築地にあります聖路加看護大学において開催させていただくことになりました。

テーマは「精神看護のアウトカム－測れるもの・測れないもの－」といたしました。精神科医療保健福祉の制度が大きく変わり、それぞれの職種が果たすべき役割が模索されている現在、看護職には何ができるのかを示していくことは大切だと考えます。ケアを行った結果、どんな利益がもたらされたのかがわかれば、看護ケアに必要なマンパワーを確保することにもつながると考えます。

一方で、精神看護のプロセスには、必ずしも結果にすっきりと反映されるわけではない多くの関わりや葛藤があります。この要素を抜きにして結果だけを語っても、精神看護の魅力を伝えることはできないでしょう。

看護職に対する社会的評価を見据え、他方で看護職としての変わらない大切なものを守る、困難な2つの作業を同時に行うことが求められる時代にあるということだと考えます。その時期、学会は20周年記念大会を迎えました。

学術集会では記念講演を稲岡文昭先生にお願いすることができました。学会創設当時の先輩方の気概に触れつつ、共に将来を模索することができれば幸いです。会長講演では精神科訪問看護のアウトカム、急性期ケアのアウトカムについてご紹介したいと思えます。

基調講演は、米国でリエゾン精神看護のアウトカムに関する研究をなさっているDr. Richard Yakimoにお願いしました。シンポジウムでは専門看護師、看護師が行う認知行動療法のアウトカム、そして測れないものを大切にする臨床および教育の立場からのお話をいただく予定です。これらを通じて、これからの精神看護の実践・教育・研究に今後どのような視点を加えていけば良いかについて皆様と考えていくことができると期待しております。

今年から、学会の演題登録にはUMIN（大学病院医療情報ネットワーク）のシステムを利用できるようになりました。登録期間中は何度でも修正が可能です。早めに登録を試していただき、その後修正をお願い致します。

聖路加看護大学は、東京・銀座から歩いて10分の立地にあり、お寿司で有名な築地や、もんじゃ焼きで有名な月島もすぐ近くです。懐かしい人に会い、そして新しい知識や問題意識を得て明日からの活動のエネルギーを得る、そんな学術集会にできるよう、事務局一同願っております。皆様のご参加をお待ちしております。

（萱間 真美）

1 一般演題登録方法と査読について

今年度より UMIN 演題登録システムでの受付となります

●一般演題の受付期間(予定):2010年2月20日(土)正午まで

※上記期間中、演題登録および修正・削除が何度でも可能です。

※締切間際には、登録や変更が殺到し、アクセスしにくくなる可能性がありますので、早めの登録と修正をお勧めします。

※演題採択結果は3月中旬ごろにメールでお知らせする予定です。

●登録方法

演題募集は、UMINオンライン演題登録システムを利用し、日本精神保健看護学会第20回学術集会HP(URL:<http://www.japmhn.jp/2010/>)からのオンライン登録のみ受付致します。郵送による応募は受け付けませんのでご注意ください。必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。HPにあるご案内をご確認後、学術集会HPの「演題登録」ページの「演題登録」ボタンをクリックして、演題登録フォームにお進みください。

●演題応募資格

発表者・共同研究者は全て本学会会員であることが必要です。非会員の方が本学術集会で発表を希望する場合は、次頁の2 一般演題登録時の注意点をお読みになり、入会申し込みを行ってください。

●オンライン登録についての注意

※UMINオンライン演題登録システムでは、Internet Explorer、Netscape、Safari(ver.2.0.3以降)、FireFox以外のブラウザでは演題登録できません。

※演題名の制限文字数は、全角70文字です。

※抄録は、全角で3,000文字まで、図表がある場合は2,010文字までとなります。登録可能な図表形式はJPEGもしくはGIFです。Word、Excelで作成された図表の画像(JPG、GIF)化の手引きは以下のHPをご参照ください。

http://square.umin.ac.jp/jann17/making_picture.pdf

※必ずご本人に連絡ができる電子メールアドレスが必要になります。

※図表サイズは、最大で縦1000ピクセル、横1000ピクセルです。

1インチ(2.54cm)=72ピクセルが目安となります。

Windows PCの場合、

スタート⇒すべてのプログラム⇒アクセサリ⇒ペイントで、作成した画像を開き、
変形⇒キャンパスの色とサイズ
で、ピクセルの確認ができます。

※登録可能な最大著者数(筆頭者+共著者)は、20名です。

※発表可能な最大所属施設数は、10施設です。

オンライン演題登録システムに関するFAQは、UMINのページ(<http://www.umin.ac.jp/endai/userfaq.htm>)をご参照ください。

●パスワードと登録番号

※最初に登録する際に、登録者本人に任意のパスワード(半角英数字6~8文字)を決めていただきます。演題登録が終了すると同時に、演題登録番号が発行されます。演題登録番号が発行されるまでは演題登録は終了していませんので、ご注意ください。

※パスワードと演題登録番号は、抄録内容の修正や演題の採否確認、お問い合わせ時に必要となります。パスワードと演題登録番号は、必ず書き留めるか、その画面をプリントアウトして保存することをお勧めします。

※パスワードと演題登録番号の記録及び機密保持は、登録者ご本人に依存します。パスワードに関するお問い合わせには、セキュリティの関係からお答えできませんのでご了解ください。

●登録演題の確認・修正・削除

※演題登録後は、演題登録確認画面をプリントアウトして保管しておいてください。演題登録の受領はE-mailで行ないます。演題登録受領のE-mailが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

※抄録内容の修正を必要とされない方も、念のため「確認・修正画面」にて抄録が登録されていることを確認されるようお勧めします。

【査読について】

●学術集会では、一般演題の査読を行います。査読は、倫理的配慮及び抄録としての適切性に焦点を当てて行います。

●研究において実施された倫理的配慮の具体的な内容を明記してください。大学や施設の倫理委員会の承認を受けていれば、その旨の記載をしてください。

●研究報告の場合は、研究目的、方法、結果、考察など、研究抄録としての体裁を整えてください。実践報告の場

合は、実践の目的と内容、成果、今後の課題など実践報告としての体裁を整えてください。

- 演題受諾の可否については、3月中旬ごろに筆頭発表者にご連絡いたします。

【一般演題登録に関する問い合わせ先】

E-mail : japmhn2009@slcn.ac.jp

(担当：瀬戸屋・大熊・角田「一般演題登録に関する問い合わせ」とお書きください)

2 一般演題登録時の注意点～学会入会のご願い

発表者・共同研究者はすべて本学会会員であることが必要です。入会手続きがお済みでない方は、入会申込書(HP上の「入会のご案内」<http://www.japmhn.jp/membership/>からダウンロードできます)にご記入の上、以下の日本精神保健看護学会事務局宛へご郵送ください。

【入会申込書送付先】

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19

株式会社国際文献印刷社内 日本精神保健看護学会事務局

【発表者の入会申し込み送付期限】

平成22年2月15日(月)

- *理事会にて入会審査を行い、その結果をご連絡します。なお、審査結果ご連絡後、平成22年3月31日(水)までに会費の納入が必要です。
- *非会員の方は期日までに、上記の入会申込書の送付および入金の手続きが完了していない場合、抄録集からお名前が削除され、演題発表することができませんのでご注意ください。

● 学術集会参加申し込み方法

- 第20回学術集会への参加を希望される方は、HPにて参加登録を済ませられたうえで、同封の郵便振替用紙にて参加費のお振込みをお願いいたします。
- 学術集会HP (URL <http://www.japmhn.jp/2010/registration>.)

html) から「参加登録」にお進みください。なお、郵送での申し込みを希望される方は、第20回学術集会事務局までお問い合わせください。

【参加費】

- 事前受付(平成22年5月21日(金)まで)

会員	7,000円
非会員	8,000円
学生(大学院生を除く)	3,000円

- 当日受付

会員	8,000円
非会員	9,000円
学生(大学院生を除く)	3,000円
当事者	500円

*2010年5月22日以降は振込できませんので、当日会場で受け付けます。

*一度ご入金された参加費は返金できませんので、ご了承ください。

*専用の振込用紙がない場合、郵便局備え付けの振込取扱票をご利用の上、下記の要領でお振込ください。

振込口座番号：00190-5-441022

加入者名：第20回日本精神保健看護学会学術集会
通信欄に下記を明記してください。

- ①会員(会員番号)・非会員・学生(大学院生を除く)の区分
- ②HPの参加申し込み登録済みであること
HP登録と入金の両方の確認がされない場合、事前登録とみなされませんのでご注意ください。

● 宿泊及び昼食について

- ご宿泊について：宿泊等の斡旋は行いません。ご宿泊の方は各自でご予約をお願いします。
- 昼食について：当日、会場周辺の飲食店マップを配布いたしますので、ご利用ください。
- その他：交流室をご用意いたしますので、ご利用ください。

■ 学術集会のお問い合わせ先(事務局) ■

E-mail japmhn2009@slcn.ac.jp

FAX 03-5550-2269

*担当：瀬戸屋・大熊・角田宛「日本精神保健看護学会学術集会問い合わせ」とお書きください。

学術集会HP <http://www.japmhn.jp/2010/>



教育セミナーのご案内

学会教育セミナーのご案内

精神看護学の研究は、精神医療・看護の歴史の変遷や社会ニーズに影響されるため、最新の精神看護研究の方向性を様々なシンポジストの研究発表から探りたい。今回は倫理手続きを含め、ディスカッションを行い、今後の研究活動に生かす機会とした。

シンポジウム

テーマ「精神看護学における臨床研究の構築」

シンポジスト

明治国際医療大学：松本賢哉講師

愛知県立大学：菊池美智子（M院生）

高知女子大学：岩瀬貴子（Dr院生）

日時 2010年2月27（土）、13：30～16：00

会費 無料
当日受付とさせていただきます

場所 大学コンソーシアム京都、第3講義室（4階）
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
キャンパスプラザ京都
（JR京都駅ビル駐車場西側）
TEL. (075) 353-9111



http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=585&frmCd=14-3-0-0

2010年度学会教育セミナー

3回開催を目標にしていきたいと思えます。

次回は中部地方にて2010年7月開催を予定しております。詳細は次回ニュースレターにてご案内します。

研究助成の公募開始

2010年度若手研究者を対象にした本学会研究助成の公募が始まりました。

助成総額60万円、1件当たり30万円まで

応募資格：42歳以下（次年度末現在）

会員歴1年以上

詳細は学会ホームページに掲載されています。皆様の応募をお待ちしております。（学会教育活動担当）

日本精神保健看護学会誌の投稿論文随時受付のお知らせ

日本精神保健看護学会誌編集委員会では、平成22年度より学会誌を年に2回発行することになりました。平成22年度は5月と12月を予定しています。これまで、投稿論文の締切日を設けておりましたが、今後は随時受付となります。平成21年9月10日に締め切らせていただきました論文は、査読を経て平成22年5月に発行予定ですが、このニュースレターでのお知らせの後、投稿論文は随時受付していますので、多くの皆様の投稿をお待ちしております。

また投稿規程を修正しました。大きな変更点は、①研究代表者の所属する倫理委員会での承認（もしくはそれにかわるもの）を受けていること、②随時、投稿

を受けていること、③メールでの投稿が可能になったこと、④論文投稿時に論文チェックリストを添付していただくこと（郵送の場合もメール投稿の場合も添付していただきます）、④論文投稿先が国際文献社にかわったことです。また投稿論文のnative checkについては、国際文献社でも英文校閲希望受付窓口を設けていますので、ご利用いただければと思います。投稿規程ならびに投稿論文チェックリストを掲載いたしますので、ご参照頂き、皆様の貴重な知の発見を発表し続けていただければと思います。

編集委員長：宇佐美しおり

副委員長：安藤 幸子

精神保健従事者団体懇談会報告

精神保健従事者団体懇談会（精従懇）は、精神保健・医療・福祉の現場に関わる学術団体及び職能団体が一同に会するわが国唯一の集団として1986年9月に精神医療に関わる12団体で発足しました。現在、岡崎伸郎、木太直人、金杉和夫の3名を代表幹事として19団体が加盟し、日本作業療法士協会が事務局で隔月（奇数月第4土曜日）に定例会が開催されています。第7期理事会では、学術連携委員会から佐久間えりか評議員（北海道医療大学）と永井優子理事（自治医科大学看護学部）が担当者（幹事）となりました。第7期は既に3回（7月25日、9月26日、11月28日）の定例会に出席しております。

定例会では毎回各構成団体から報告として、本会の新役員、運営、学術集会などについて適宜報告しております。また、第132回からは、平成21年7月11～12日に日本教育会館 一ツ橋ホールにて実施した第6回精神保健フォーラム「危機のなかで人間として生きる権利を！ー精神保健・医療・福祉の新たな地平に向けてー」の会計処理及び雑誌「精神医療」の別冊として報告集の作成準備を進めています。刊行は平成22年春の予定です。また、政策提言につながるロビー活動として、昨年10月9日に鳩山幸夫民主党代表及び内閣総理大臣に「人間らしく暮らすことのできる社会をめざして精神保健・医療・福祉施策の転換と改革を求める要望書」を提出しました。第134回では民主党議員を招き、国政の動向について懇談しました。要望書等は今後本学会ホームページに掲載する予定です。

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報委員会で検討させていただき、ニュースレターに掲載したいと考えています。皆様からの原稿をお待ちしております。

The Japan Academy of
Psychiatric and
Mental Health Nursing
*News
letter*

編集後記

▼世界的不況と連動して経済不安は募るばかり、新政権への国民の期待も急速に失望へと傾きつつあると連日報じられています。▼自殺予防対策、障害者自立支援法廃止等、懸案の見通しは依然不鮮明です。▼精神保健医療福祉に関する実効性のある法施策の整備改善とマンパワーの拡充は緊急の課題です。▼それぞれの持ち場で、ケアの質保証とケア提供者のメンタルヘルス支援のために何ができるか？何をすべきか？▼多職種連携に向けて、取り組みの成果を共有、発信する機会として学会を活用していただければと思います。

広報委員会 ホームページ担当：萱間 真美 ニュースレター担当：近澤 範子
（お問い合わせ先）メールアドレス：noriko_chikazawa@cnas.u-hyogo.ac.jp
TEL/FAX：078-925-9430